

# 産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所  
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談  
 診 察 日：月曜・木曜・金曜  
 受付時間：9:00~12:00、  
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16  
 IP Tel:058-295-9545  
 FAX:058-296-3903  
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp  
 http://zazendoh.town-web.net/  
 191号 2020.2.1.  
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介



漁夫 1904年木版・縦22.1×17.3(cm)  
 日本近代版画の出現となった記念すべき作品。

## 子どもが人間らしく成長できる社会を

松井 英介

みんな同じようにお手本どおりに描き写す教育が良いこと。それが、役に立つ次世代を育てることだと考えられていた明治時代。山本鼎(やまもとかなえ, 1882-1946)は、これに異議を唱えました。

子どもの発達にとって大切なのは、絵を描く技術ではなく、自分の目で見て感じとったものを自由に描くことだと説いたのです。1882年愛知県岡崎市生まれの鼎は、子どもに自由に描かせる自由画運動を推進した版画家として知られています。

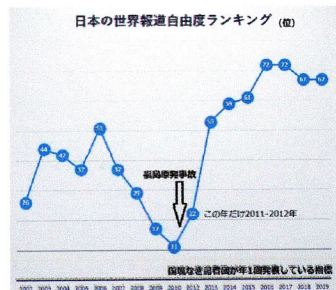
鼎の小学校時代、漢方医だった父は西洋医学を学ぶために上京します。東京浅草で小学校を卒業した鼎は、浜松町の木版工房で住込み徒弟となり、1901年9年間の年季奉公を終えます。他人の下絵を彫るだけの職人に満足できず、1902年東京美術学校西洋画科に入学。在学中の1904年、与謝野鉄幹主宰の雑誌『明星』に刀画「漁夫」を発表。鼎は、気鋭の版画家として注目されました。それは、絵師・彫師・摺師を一人で行う創作版画、筆ではなく彫刻刀で直接版木に描く刀画でした。

鼎が16歳のとき、父は長野県小県郡神川村(現上田市)で医院を開業し一家は移住。上田は第二の故郷となります。1918年鼎は、小県郡神川小学校で子どもに自由に描かせる自由画運動をはじめました。翌年農民美術練習所を開講。芸術の美しさを備えた木工家具や木彫人形を作り販売する運動です。貧しい農民が、経済的にも豊かになればと考えたのです。鼎が上田を中心に展開した子どもの自由画運動と農民の芸術運動のヒントは、留学先パリからの帰国途中で立ち寄ったロシアにありました。目を奪われたのは、子どもたちの個性豊かな画、そして日常生活のために農民が創った素朴な木製の器でした<sup>1) 2)</sup>。

自由が奪われ、ますます生きづらくなっている最近の日本。

「国境なき記者団」が年1回発表しているグラフ「世界報道自由度ランキング」をみると、2019年の日本は67位。東電第一福島原発大惨事が起こった2011年には、「炉心溶融が2カ月も紙面から消えて」しまいました。自由が大幅に制限されている日本の現状をよく示しています<sup>3)</sup>。

山本鼎に学んで、子どもが人間らしく成長できる自由な社会を創るために力を注ぎましょう。



### 【参考資料】

- 1) 村上民「自由学園草創期(1921-1932年)の美術教育：羽仁もと子・吉一と山本鼎の協働を中心に」生活大学研究Vol.1 26-44(2015)
- 2) 山口真理、三橋俊雄、宮崎清「山本鼎の日本農民美術運動―大正・昭和前期における農村工芸振興の内発性に関する研究」BULLETIN of JSSD Vol.42(2), 1995, 57-64
- 3) 国藤保晴(ネットジャーナリスト、元新聞記者)「福島原発事故と科学力失速に見る政府依存報道」  
<https://news.yahoo.co.jp/byline/dandoyasuharu/20200105-00157639/> 2020-01-05